

# Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 73



R3.12.6

今月のキーワード

「思考・判断・表現」

評価基準（ルーブリック）

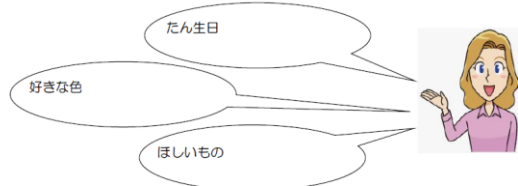
11月19日（金）、国立教育政策研究所の清水友晶学力調査官を迎えて、小・中学校英語研修を開催しました。研修では、「知識・技能」や「思考・判断・表現」の観点別評価について、演習を交えて講話をいただきました。コロナ禍もあり、各学校1名の参加とさせていただいたことから、研修内容について校内での共有をよろしくお願ひします。今回は、研修内容から何点か抜粋して紹介します。

## 「思考・判断・表現」を評価するためのひと工夫

小学校で扱う問題や中学校の定期テスト問題を使い、「知識・技能」から「思考・判断・表現」を問う問題にするための視点について考えました。以下、具体例（参考）をお示しします。

### 小学校 聞くこと 【知識・技能】

先生の話聞いて、誕生日や好きな色、ほしいものを書きましょう。



スクリプト

Hello, everyone. My birthday is May 6<sup>th</sup>. Look, this is my cap. It's old. I want a new blue cap. I like blue. So I want a new blue cap for my birthday.

### 小学校 聞くこと 【思考・判断・表現】

クラスでALTのメグ先生のお誕生日会を計画しています。メグ先生により楽しんでもらう内容にするため、メグ先生についてもっと詳しく知りたいと思っています。メグ先生の話聞いた後、あなたならメグ先生にどんな質問をしますか？日本語で書いてみましょう。



### 小学校 読むこと 【知識・技能】

This is my hero.  
He is my brother.  
He can swim fast.  
He is good at playing tennis, too.  
He is cool.  
He is my hero.



問1 タケシのヒーローは誰ですか。

問2 タケシが紹介しているヒーローの得意なスポーツは何ですか。

### 小学校 読むこと 【思考・判断・表現】

This is my hero.  
He is my brother.  
He can swim fast.  
He is good at playing tennis, too.  
He is cool.  
He is my hero.



問1 あなたは、タケシから「このヒーローにプレゼントを贈りたいのだけど、何を贈ったらいいかな」と相談を受けました。どんなアドバイスをしますか。

## 演習（中学校）

思考・判断・表現の評価を行うことができるように、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを設定してください。

(1) What do you want to be? (理由も含め英語2文以上で答えなさい)

これは「知識・技能」を問う問題になります。

(1) あなたは今、立志式に向けて学校で様々な取組を行っています。英語の授業では、20歳の自分に向けて手紙を書くことになりました。将来の夢や将来やりたいことなどを20歳の自分に宛てて書きましょう。

「目的、場面、状況を設定すること」がキーワードになります。



# 評価基準（ルーブリック）の設定と活用

## 例1 a/b/cの基準を、発話量だけの判断基準にならないように気を付けましょう。

下の例文のように、パフォーマンステストを実施した際、AさんとBさんはほぼ同じ内容のことを話していますが、英文の量だけで判断するとBさんはb評価になってしまいます。

パフォーマンステスト 話すこと（発表）

〇〇のために、自分のヒーローについて話すことができる。

	思考・判断・表現	Aさん	Bさん
a	〇〇のため、自分のヒーローについて、5文以上で話している。	Aさん Hi, I'm A. My hero is Otani Shohei. He can play baseball well. He can run fast.	Bさん Hi, I'm B. My hero is Otani Shohei. He can play baseball well and run fast.
b	〇〇のため、自分のヒーローについて、小学校の思い出について、3文以上で話している。	He is good at pitching.	He is good at pitching and hitting.
c	bを満たしていない	Thank you.	Thank you.

量での判断で、【思考・判断・表現】の評価が本当にできるか検討が必要！

評価基準は、子どもの具体的な姿をもとに先生方で十分に話し合い、修正を加えていってください。



これらの基準を、子どもたちとも共有しておきましょう。「目標や見通しを持たせ、実践し、自己を振り返る」を繰り返し、自己調整力を育てていきましょう。



## 評価基準（参考例 小学校②）

	思考・判断・表現	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	小学校の思い出について、〇〇という目的に応じて、情報を加えて内容を深めたり、質問をしたりするなど工夫をしながら、自分の考えや気持ちを話している。	小学校の思い出について、4つ以上の情報（思い出、したこと、感想を含む）で話している。	小学校の思い出について以上の情報（思い出、行ごと、感想を含む）で伝えられている。
b	小学校の思い出について、〇〇という目的に応じて、自分の考えや気持ちを話している。	小学校の思い出について、3つ以上の情報（思い出の行事、したこと、感想）で話している。	小学校の思い出について情報（思い出の行事、行ごと、感想を含む）で伝えられている。
c	教師やALTの支援があれば、小学校の思い出について、〇〇という目的に応じて、自分の考えや気持ちを話すことができる。	bを満たしていない	

量と質（内容の適切さ）で判断  
質で判断

## 例2 英作文の評価の仕方についても観点と比重を考えましょう。

### 評価基準（参考例 中学校① 6点満点として）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
3点	誤りのない正しい英文で書くことができる。	3つの条件を全て満たして書いている。	
2点	ほぼ正しい英文で書くことができる。（誤り1、2か所程度）	条件を2つ満たして書いている。	
1点	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。	条件を1つ満たして書いている。	

※内容が伴っていれば、40語以上でも減点はしない。  
※明らかに水増しと思われる場合は、水増し文を除いて評価する。

「知識・技能」と「思考・判断・表現」の比重を工夫することも考えられます。



### 評価基準（参考例 中学校② 6点満点として）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4点		3つの条件を全て満たして書いている。	
3点		条件を2つ満たして書いている。	
2点	誤りのない正しい英文で書くことができる。	条件を1つ満たして書いている。	
1点	誤りが一部あるが、コミュニケーションに支障のない程度の英文を用いて書くことができる。		

質をより重視した基準

例えば、同じ4点でも、内訳は

「知識・技能」2点＋「思考・判断・表現」2点

「知識・技能」1点＋「思考・判断・表現」3点

「思考・判断・表現」4点 と3通りできます。



- ・指導者が意図的に思考・判断・表現する場面や目的を設定した言語活動を行っていかなければならないことを実感した。
- ・パフォーマンステストを実施する際に、質と量から検討していくことを校内でも再検討していきたい。
- ・出題の仕方や子どもへの提示の仕方を変えるだけで、思考・判断・表現を意識した指導ができそうと思った。



先生方の振り返りから抜粋

文責 学校教育課 稲葉亜希恵